

近江妙蓮の歴史と観賞会（ご案内）改訂版

守山市の近江妙蓮公園には、珍しいハスの1種である近江妙蓮が咲いています。このハスはインドを源とするハスの突然変異種で、600年以上も前から、田中家代々によって受け継がれて来ました。

明治時代以降、68年間開花しない時期もありましたが、世界的に有名なハス博士・故大賀一郎氏によって蘇り、今日に至っています。

梅雨明け後の暑い時期でもありますが、近江妙蓮の歴史を学び、雄蕊・雌蕊の無い花びらだけで咲き続ける不思議なハスを鑑賞したいと思います。



**熱中症
対策版！**

【日時】 2018年7月27日（金） 10:00～15:00

【集合】 JR守山駅（西口）**10:00** ★時間厳守！

*アクセス

- ① 長浜行・新快速 大阪駅 8:59⇒⇒高槻 9:15⇒⇒京都 9:29⇒⇒守山 9:55
- ② 野洲行・新快速 大阪駅 8:48⇒⇒高槻 9:04⇒⇒京都 9:18⇒⇒守山 9:44
- ③ 草津行・新快速 大阪駅 8:42⇒⇒高槻 8:58⇒⇒京都（米原行）9:12⇒⇒守山 9:40

注③は京都で湖西線と琵琶湖線に分かれますので、後ろの車両の米原行に乗り

***格安チケットがお勧めです。** 又は、京都駅までの切符を買い、守山駅で清算すると80円安くなります。（その場合は早めの電車で！）

【行程】 JR守山駅（西口）10:10 発＝（近江鉄道バス）＝バス停「田中」10:30…（徒歩）…近江妙蓮公園（2グループに分かれて解説と観賞）10:40～11:50…（徒歩バス停へ）バス停「田中」乗車12:00＝バス停「守山銀座」下車12:20…（徒歩）…本町自治会館（昼食・班長会）12:30～13:30…（徒歩）…東門院13:45…中山道・守山宿（交流会館・うの家など）14:00～14:30…（徒歩）…JR守山駅西口15:00着（解散）

【持物】 弁当、**塩分と飲み物(多め)**、暑さ対策（濡れタオル・大き目の帽子等）、敷物、雨具など

【参加費】 そら組より支出

- ・近江鉄道バス増発便往復代 21,600円 (5,400円×4台)
- ・近江妙蓮入園料 50円 (団体割引・シニアサービス)
- ・自治会館使用料 1,500円

* 守山駅～「田中」バス停までと、田中～守山銀座までの運賃 680円 (340円×2回) は、個人支払してください。

* ICOCAなどのカードは使えません。現金払いなので、両替などで時間を取らないよう、各自小銭をご用意ください。

【出欠確認】 各班長さんは**参加人数の変更を当日朝、1班・柳田班長へお知らせ下さい。**

【実施可否】 前日午後5時時点で守山市の降水確率が50%以上の場合は中止とし、全体メールでお知らせいたします。

【資料】

*近江妙蓮



近江妙蓮はつぼみのときは1つの花に見えますが、外側の花びらが開いた後は、一茎に2～12の花が見られ、通常2,000～5,000枚前後、平均すると3300枚ばかりの花びらで1つの花を作る綺麗な蓮です。見頃は7月下旬～8月中旬頃です。

1406年、近江妙蓮が室町幕府3代将軍・足利義満公に献上されたという故事に因み、平成18年7月20日、600年ぶりに「平成の献上」として、義満公を安置している

京都北山鹿苑寺（金閣寺）に献上されました。

*ホタルの森資料館

守山市のゲンジボタルの歴史や取り組み状況などを学習することができ、ホタルの人工飼育も行われ、一年を通じてホタルの生態観察ができます



*守山宿

近江国野洲郡にあった中山道67番目の宿場（中山道六十九次）で、現在の滋賀県守山市旧市街に当たる

